

自動精算機のご紹介

時間はデザインできる
医療経営にイノベーションを

Design your time for your innovation

院長先生を悩ませる 経営課題



1. 深刻化する人手不足と採用難

- ・医療福祉分野の有効求人倍率は依然として高く、受付・事務スタッフの確保は困難を極めています。

- ・スタッフの定着率向上と、一人あたりの生産性向上が急務となっています。

2. 「選ばれる医療機関」になるための差別化

- ・患者満足度は、治療内容だけでなく、待ち時間や会計のスムーズさにも大きく左右されます。

- ・快適な院内体験の提供が、患者から選ばれ続けるための鍵となります。

3. 進む医療 DXの潮流

- ・業務効率化とデータ活用は、今後の医療経営に不可欠です。

- ・決済の自動化は、その第一歩として最も着手しやすく、効果の高い領域です。

見過ごされやすい窓口業務に潜む課題

日々の窓口業務には、多くの 時間と心理的負担が費やされています。
これらは生産性を直接的に低下させる要因です。

会計対応



- 金銭授受のミスができないプレッシャー
- 長引く待ち時間への患者さんからのプレッシャー

日計締め



- ダブルチェックでレジ締め業務
- 1円でも合わなければ、残業して原因を究明する必要がある
(金額不一致のプレッシャー)

テーマ
「時間の浪費」
「心理的負担の増大」

両替業務



- 釣銭用の現金を常に確保する必要がある。
- 不足時にはスタッフが銀行へ走るなど、本来の業務が中断される。

ヒューマンリスク



- 金額不一致による患者さんとのトラブル防止
- 万が一のレジ金持ち出しなどの職員トラブル防止

導入後の効果

会計対応



レセコン連携による会計自動化
紙幣・硬貨まとめて投入可能

「時間削減」「心理的負担の解放」

日計締め



集計の自動化
締め作業時に指定した金額の排出可能

「時間削減」「心理的負担の解放」

両替業務



現金還流による釣銭不足を解消

「時間削減」

ヒューマンリスク



現金還流高額紙幣の排出、1円・5円の取扱い

「心理的負担の解放」



フルセルフ／セミセルフどちらを選ぶべきか

人手不足・採用難

「時間削減」「心理的負担の解放」

真の解決を目指すなら

フルセルフ (Full-Self)



会計業務を完全に自動化し、
スタッフを完全に解放できる。

セミセルフ (Semi-Self)



結局スタッフが1名会計に張り付く必要
があり、省人化の効果が限定的。

3つの提供価値

関わるすべての人に明確なメリットをもたらします



院長先生(経営者)

- **従業員から選ばれる** :
 - 採用難の解決。
 - 定着課題からの解放。働きやすい環境は、良い人材を引きつけ、医療機関の **ブランド価値** を高める。
- **患者様から選ばれる** :
 - 新患獲得
 - リピート率 Upよりよい通院体験が **患者様を集める**



現場スタッフ

- **ストレス業務からの解放** :
精神的負担の大きいレジ締め、現金差異の確認がゼロに。
- **両替業務の撤廃** :
銀行へ走る手間と時間がなくなる。
- **本来の業務への集中** :
患者と向き合う、より **価値の高い仕事** に時間を使える。



患者様

- **会計待ち時間の大幅な短縮** :
スムーズな **会計体験** で満足度が向上。

自動精算機の導入は、市場環境の変化に対応する「戦略的投資」です



病床数
〇〇

投資対効果 (ROI) の見える化のご提案

ROIシミュレーターでその場で算出が可能です

1. 直接コスト削減

- レジ締め・現金差異の確認時間(例:1時間/日)
- 両替業務の時間

2. 人件費の最適化(人月での算出)

- 受付3名体制から「2.5名体制」への移行など、より少ない人数で高付加価値な業務運営が可能。

3. 採用コストの回避

- 募集、面接、教育にかかる見えにくいコストが不要になる。

月間患者数

会計対応時間

レジ締め時間

事務職員時給

…など教えてください。



⇒シミュレーションが可能です。
※営業担当にお声がけください。

予約システムも GMO に揃えていただくメリット

予約から受付、会計まで一気通貫システムのメリットがあります



スマホ診察券

スマホ画面のQRコードで会計開始



今の診察券もQRコード化

スマホの扱えない高齢者も
診察券でスムーズに会計開始



メディカル革命_{by}GMO



モニター表示

会計完了を連携し、
患者番号の消込可能



スマートチェックイン

受付も自動化で
更なる効率化へ
※再診の患者さんに限る

自動精算機取り扱い4機種

項目	SMSEL CR2(現金還流タイプ)	SMSEL CR1000 (大容量現金還流タイプ)	SMASELキャッシュレス (キャッシュレス専用)	SMSEL CR2 セミセルフ (現金還流タイプ)
イメージ図				
特徴	釣り銭として患者投入金を還流。 釣り銭不足の心配が少ない。 締め作業時に指定額の排出可。	従来の380シリーズ比で硬貨収納容量約57%アップ。硬貨・紙幣ともに還流式。	横幅40cm×奥行30cmのコンパクトサイズ。業界最安値水準の価格。	釣り銭として患者投入金を還流するセミセルフ機。
サイズ(W×D×H)	カウンター: 幅400×奥行540×高さ670mm 自立型: 幅530×奥行620×高さ1400mm	幅440×奥行450×高さ1450mm	横幅約40cm×奥行約30cm	幅480×奥行540×高さ500mm
お札投入枚数	最大20枚までまとめて投入可能	最大20枚までまとめて投入可能	✕ 現金機能なし	20枚までまとめて投入可能
硬貨投入枚数	最大約50枚までまとめて投入可能	硬貨200枚一括投入が可能	✕ 現金機能なし	最大約50枚までまとめて投入可能
金種入出金	全金種入出金対応(2,000円紙幣除く)。高額紙幣の排出、1円・5円の取引可能。	硬貨の入金枚数設定が可能(20枚まで)。大量投入による金種の偏りを防ぐ。	✕ 現金機能なし	全金種入出金対応(2,000円紙幣除く)。高額紙幣の排出、1円・5円の取引可能。
紙幣/硬貨還流	還流式(硬貨/紙幣)	還流式(硬貨/紙幣)	✕ 現金機能なし	還流式(硬貨/紙幣)
キャッシュレス決済	クレジット・各種電子マネー・QRコード決済	クレジット・各種電子マネー・QRコード決済	キャッシュレス決済のみ	クレジット・各種電子マネー・QRコード決済
その他	国内シェアNo.1の現金機を採用 カウンター型での設置が可能 フルカラーディスプレイによる分かりやすい案内機能を搭載	大容量硬貨投入口。日中の釣り銭補充や途中回収の回数を削減。	本体価格200万円未満で導入可能。	レセプトと連携を行わないバーコード連携 対面対応を維持できるため、患者とのコミュニケーションを確保
価格(初期費用)	350万円(税抜)～	398万円(税抜)～	168万円(税抜)～	185万円(税抜)～

お申込みから設置までの流れ



- ① 精算機のお申込とご入金をいただき、ご入金確認後に精算機の準備を進めさせていただきます。
- ② キャッシュレス決済導入の場合、カード会社のお申込と審査がございます。
- ③ カード会社様よりブランドステッカーなどが届きます。
ステッカー：クレジットカード等が利用できることがわかる販促物となりますので、
精算機のお取り扱い開始に併せて店頭掲示をお願いいたします。
- ④ 精算機の準備・セットアップができ次第、設置スケジュールのご調整をさせていただきます。
- ⑤ SMASELシリーズにつきましては、設置当日精算機をお持ちさせていただきます。
- ⑥ 設置担当者がお伺いさせていただき、精算機の設置と使用方法のご説明を行います。
(設置に2～3時間、ご説明に1時間ほどお時間を頂きます。)
- ⑦ 稼働スタート日は担当インストラクターがサポートをさせていただきます。

お問い合わせ先

GMOリザーブプラス株式会社

TEL：03-6413-0612（電話受付時間：平日 9:00-17:30）

<https://medical-reserve.co.jp/medical/contents/kiosk/>

